

春秋会

ニュースレター

2023.9



今月の予定

- ・9月17日(日)
大阪弁護士会大運動会
- ・9月20日(水) 12時~13時
第6回幹事会
- ・9月28日(木)
18時~19時30分頃
春秋会 9月総会
19時30分頃~20時45分
春秋会 懇親会

今月のニュースレターも豪華なラインナップでお届けします。
皆さまからのご意見・ご感想など、広報委員一同楽しみにしています。

暑気払いのご報告

藤澤諒祐(74期)

令和5年8月2日、大阪市中央公会堂において暑気払いが開催されました。当日は、たくさんの弁護士、事務員及び修習生の方々約60名ものご参加により、大変盛況な会となりましたことをご報告させていただきます。

春秋会の夏の懇親会企画としては、例年ビアパーティを開催しておりましたが、ここ数年はコロナ渦で中止となっておりました。が、今年、暑気払いという形で戻ってまいりました。



今回の暑気払いの内容は、美味しいお酒とお食事に舌鼓を打ちながら、参加者同士の会話やゲームイベントを楽しむというものでした。

ゲームイベントの内容は、まず、曲名や曲をカバーしている歌手を当てるイントロクイズです。



2023年度 広報委員

- ・松尾 洋輔 (59 期、委員長)
- ・溝上 絢子 (57 期、担当副幹事長)
- ・西原 和彦 (55 期)
- ・堀川 智子 (57 期)
- ・浦 寛幸 (59 期)
- ・広瀬 元太郎 (60 期)
- ・柳 勝久 (61 期)
- ・山田 寛子 (65 期)
- ・金星 姫 (66 期)
- ・木場 晶子 (67 期)
- ・田村 瞳 (67 期)
- ・板崎 遼 (67 期)
- ・吉留 慧 (68 期)
- ・高一 成 (69 期)
- ・根本 俊太郎 (70 期)
- ・足立 敦史 (71 期)
- ・村本 健司 (71 期)
- ・河野 哲平 (71 期)
- ・オ木 晴幹 (72 期)
- ・中岡 さつき (72 期)
- ・中西 教子 (72 期)
- ・久井 大輝 (73 期)
- ・山本 こずえ (73 期)
- ・佐々木 崇人 (74 期)
- ・神澤 鈴子 (74 期)
- ・秦 尚輝 (74 期)

イントロクイズは、5～6人ずつのグループに分かれ、グループごとに代表者を選出して行われました。答えが分かった代表者は手を上げ、一番早く手を上げた人に回答権が与えられます。1960年代の曲から最近の曲まで幅広く出題され、年齢にバラつきのある参加者全員が楽しめるものになりました。

次に、出題者が童話やある特定の場面を身振り手振りで表現し、それが何という童話なのか、どんな場面なのかを当てるジェスチャーゲームです。



ジェスチャーゲームはグループ内で知恵を出し合って回答する形で行われました。答えを聞くと「あ～なるほど!そうか!」となるようなお題であり、こちらも誰もが楽しめるものになっていました。

また、ジェスチャーしていただいた先生がたの渾身の演技はどれも秀逸で、出題側は思っていたよりも正解するチームが多かった、とのことでした。

それぞれのゲームで勝利したグループにはポイントが与えられ、最終的に取得したポイント数の合計が最も多いグループが優勝となるチーム対抗戦の形式で行われました。そして、1位のチームから3位のチームのグループには景品が贈呈されます。景品は任天堂 SWITCH や松坂牛、ディズニーランドなどテーマパークのペアチケットなど、豪華景品が目白押しでした。参加者の皆様はお酒やお食事を楽しみながらもゲームに熱中し、大盛り上がりとなりました。



同イベントは、中央公会堂地下1階の中之島ソーシャルイートアウェイクさんにて、開催させていただきました。

広い会場にて、数々の美味しいお料理とお酒に舌鼓を打ちながら、ゆったりとゲームや会話を楽しむことができました。中之島ソーシャルアウェイクさんには心からの感謝を申し上げます。

皆様とても楽しい時間を過ごしていただけたのではないかと実感しております。

今後も引き続きたくさん楽しい企画を準備していきますので、そちらの方にも是非ともご参加いただけますと嬉しいです。

親睦委員会一同、今後も精一杯楽しい企画を作ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

若手会破産研修に関するご報告

松村美母衣(74期)

8月24日、関根法律事務所の浦寛幸先生に講師を担当いただき、若手会主催破産研修「初めての破産申立」管財編を開催しました。今回実施した研修は、前編と後編の2回にわたる破産研修のうち、後編に該当するということで、前編から引き続き参加いただいた方も多く、ZOOMでの参加も含めると計16名の方にお集まりいただきました。



午後6時から7時45分頃まで、浦先生による講義が行われ、経験談も交えながら、管財事件の破産申立を行うにあたり留意すべき事項を分かりやすく解説していただきました。特に、研修の後半は、管財人が着目するポイントを

理解しておくことが、破産申立をスムーズに行うことに繋がるといった観点からの解説がなされ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

また、研修の終盤には、現地参加していただいていたあすなろ法律事務所の岩本朗先生から、15分程度、管財事件に取り組む際に注意すべきポイントに関するお話をいただきました。

ところで、この若手会主催の破産研修は去年も行われており、弁護士1年目で私も参加しましたが、当時は管財事件のいろはも分かっていなかったことから、せっかくの研修にもかかわらず、講義内容を消化しきれなかったように感じていました。しかし、今年改めて研修に参加したところ、去年に比べ少しは具体的な事件のイメージがつくようになっていたことから、去年感じた疑問も解消され自分の糧になりました。メモをたくさん書き込んだ2年分のレジメを、事務所の書籍棚にそっと置き、いつでも参照できるようにしたいと思います。



研修終了後は、ZOOMでの参加となっていた先生方と合流し、裁判所近くにある「oui」で懇親会を開催しました。前編に引き続き、年次の近い先生方に多く参加いただいていたこともあり、親睦を深める機会になったことと思います。

以上、若手会主催破産研修「初めての破産申立」の前編及び後編は、皆さまにご参加いただいたことで盛会となりました。浦先生におかれましては、ご多用の中、講師を務めていただき誠にありがとうございました。また、岩本先生におかれましても、貴重なお話をお聞かせいただき、感謝しております。

今後行う予定の若手会主催の行事は、メーリングリスト等を通じて皆さまにお伝えする予定です。引き続きよろしく願いいたします。

ひと月一島、国内航路全制覇への旅(5)

～長崎県：壱岐島～

広瀬元太郎(60期)

日本史の事件のなかで「元寇」は特に興味がある。言語も行動様式も違う巨大な外敵とどうやって戦ったのか。一回目と二回目の間でどんな対策をとったのか、神風の話は真実なのか等。教科書では、御家人が頑張っ、博多湾で強大な元軍を退けた、すばらしい。ということで終わるが、博多湾より向こう側にも島はあったのだが、そこはどういうことになっていたのだろうか。

九州(唐津市付近)から朝鮮半島までは直線で170キロである。途中に壱



【国土地理院地理院地図】

岐島と対馬島がある。九州(20キロ)壱岐(50キロ)対馬(50キロ)朝鮮半島という距離関係だ。途中に島が無ければ、170キロは余りにも遠い。九州から朝鮮半島は見えないので、間にこの二つの島があることにより、航海が容易となった。そのため、古くは「漢の倭の奴の国王」の金印を乗せた船、百濟連合軍、蒙古軍、豊臣秀吉の軍、そして帝国海軍がこの海域を行き来した。この二つの島が無ければ、日本の歴史は全く違うものとなっていたことは確実である。

8月25日、大阪から午前6時発の新幹線で8時半に博多に着く。今回は、妻がついてきた。博多から99番の西鉄バスに乗って15分ほどで博多港着。博多から壱岐経由対馬行きのフェリーが10時に出航する。全長94メートル、総トン数1809トンで意外に小ぶりな船である(大阪から別府へ行くサンフラワーは、全長200メートル、総トン数17,114トン)。玄界灘は冬荒れるらしいので、その時期は結構揺れそうである。ペイペイドームを海側から見て、糸島半島の沖を通過し壱岐まで2時間15分。高速船に乗れば、博多—壱岐は1時間であるが、甲板に出ることのできるフェリーの方が時間はかかるが楽しい。船は、島民や観光客で結構混んでいた。一人500円支払ってアップグレ

ードしてもらすと、16人部屋を2人で独占できた。柔道でもできそうなくらい
広くて快適である。



12時15分、壱岐の南東側の街である郷ノ浦港に入港する。壱岐といえば、アメリカ領事館の南側の幸田ビルに入っている「壱岐島」という店のことしか知らなかったが、今回、研究したので簡単に説明する。壱岐島の面積ランキングは21位（北方領土、沖縄本島を除く：1位は佐渡）で、小豆島（19位）少し小さい。最高海拔は200メートル程

度で、のっぺりした平らな島である。90%が山である対馬に比べると、耕地の割合も多い。漁業が盛んで、イカ、ウニ、アジが名物である。

壱岐には一泊するが、特に前もって予定は決めていない。港でもらったパンフレットに記載されている場所を片っ端から回ってみることとした。まず、島の北東の芦辺という町にある「少弐資時の墓」に行ってみる。少弐資時って誰？ということになるが、二回目の元寇のときのヒーローである。日本史を忘れていた読者もいるので復習をすると、元寇は二回あった。一回目を文永の役という。1274年。来年2024年は、文永の役後750年である。壱岐島



【国土地理院地理院地図】

には、そのことを示すいくつかのポスターが掲示されてあった。それは、意識したことがなかった。二回目を弘安の役という。1281年。一回目のあと、鎌倉幕府は二回目に備え、博多湾に防塁を築き防御を完璧にした（元寇防塁は、福岡の複数の箇所に残存している）。上陸に苦戦した元軍を台風が襲い、元軍は兵力の大半を失い退却した。

壱岐において、二回目のヒーロー少弐資時は、4万もの元軍に対し、わずかな軍勢で立ち向かい、弱冠19歳で討ち死にした。

一回目にもヒーローがいて平景隆という。平景隆は、4万の元軍に対して100騎で戦ったが、翌日、元軍の総攻撃を受け自害。自害の際、娘に「この事態

を大宰府に伝えろ」と命じたものの、娘も元軍の毒矢に当り負傷、その後自害。島民男子は惨殺、女子は手に穴をあけ綱でつながれ、弾除けとして船の舷側に吊るされた。悲惨である。記録がどのくらい正確かは謎であるが、圧倒的な物量の差をもってなされる侵略行為の怖さを感じる。

ここで思ったのだが、一回目と二回目の間、博多港は完璧な準備をしたの



に対し、壱岐においては、一回目と二回目で状況が変わっておらず、平景隆の展開と少弐資時の展開に大差がない。鎌倉幕府は、島しょ部を捨てたということであろうか。一見の旅行者にはよくわからないので、今後勉強してみたい。

少弐の墓からそれほど離れてない場所に、「千人塚」という場所がある。惨殺された千人もの島民を慰霊する場所である。壱岐まで来て、元寇の碑を見る人も少ない

ようで、自分たち以外には誰一人いない静かな場所であった。教科書でしか知らない元寇が身近に感じられる。この碑には「元寇殉国忠魂塔」と刻まれている。確かに、元寇は日本の国難であり、ここはその最前線なのであるが、少弐資時や平景隆は、日本を守るためではなく、この壱岐を外敵から守ろうとしたのではないか。幕府は、壱岐を捨てたわけだし、ちょっと違うのではないかと思ってしまう。この未曾有の国難は、「神風」の話（最近の研究では、台風による元軍の壊滅説には疑問が呈されている）も含め、後世の為政者に

政治利用される傾向がある。



話がめんどくさくなってきたので話題を変えると、壱岐はとにかく海がきれいである。沖縄の写真にあるようなエメラルド色の海がそこら中にある。人が湧いている石垣島なんかよりきれいなのではないかと思う。

熱帯魚もいる。博多から2700円で来島できるし、もっと売り出せばいいのと思う。特に、島の北西端にある辰ノ島の美しさは格別である。あまりにも水が澄んでいるので、停泊している小舟が宙に浮いているように見える。また、浜辺の裏山は、断崖絶壁となって海に落ち込んでいる。特にフェンスなど

ないので、断崖の際まで行ける。妻が、ギリギリのところに立って下を覗いているが、不測の事態が発生した場合に、真っ先に嫌疑をかけられるのは筆者なのでやめてほしい。隣の島は、ほぼ全島が海上自衛隊の警護所であり西方を監視している。また、海岸には、海岸を掘削したり切り土をすると「低潮線保全法」により罰せられる、理由は、海岸を削ると領海や EEZ (排他的経済水域) が狭くなるからだ、という看板も立っている。そんな法律初めて知ったが、現在もここは国防の最前線なのだ。



この断崖から北北西の方向50キロに対馬の島影が見える。次はこの島に渡ることにする。

執行部だより

親睦担当副幹事長 中原大雄(69期)

今年度、親睦委員会担当副幹事長の中原大雄です。2年間、春秋会の嘱託弁護士として、会派事務を担当していたことがあります。副幹事長も、嘱託弁護士の時の縁で務めさせていただくことになりました。

私が担当する親睦委員会は、「脱・コロナ」の流れを受け、リアル参加中心の企画を色々打ち出しております。直近でも、恒例のビアパーティーを開催し、総勢60名を超える参加者となり、大盛況でした。直近に控えている宝塚観劇企画は、満員となってしまいましたが、確定している以下の企画は、まだまだ参加枠が残っておりますので、皆様、ぜひ、リアルで参加ください。

ワインの夕べ（11月15日 講師：岡昌治ソムリエ @リーガロイヤルホテル「リモネ」）

新人歓迎旅行（2月17～18日 @尾道）

さて、少し私の話をさせていただきます。私は、修習時代を大分で過ごしました。大分修習は、同期19名4班で、小規模の部類に属していました。ただ、小規模だからこそ、様々な修習企画で、常に同期と顔を合わせ、何気ない会話をしたりするので、仲もよく、お互いを助け合う風土が自然と培われていきました。私は、不勉強で分からないことが多かったのですが、このような風土にどれほど助けられたかわかりません。なお、修習が終わっても、仲の良さは続き、毎年1回、温泉に入り、大分で同期会を開催しております（コロナ禍で止まりましたが、現在、無事に復活しております。）。

春秋会は、本当にいろいろな分野で活動しておられる先生方が多数所属され、それぞれが多種多様な専門性を持っておられます。企画に参加して顔を合わせれば、そんな先生方とも顔見知りになれますし、顔見知りになればいろんな話をするのが可能になります。「情けは人の為ならず」ならぬ、「参加は会派の為ならず」的に、企画参加により、自身の悩み解決のきっかけをつかむことができるかもしれません。私は、個人的にとっても助かっております。もちろん、親睦企画に限らず各種企画は、素晴らしいものばかりですので、ぜひとも、楽しみ半分・打算半分で、気軽にゆるりと、ご参加ください。

今月は、執行部として初めての9月総会があります。執行部一同、一層気を引き締め、暑さに負けないように尽力していく所存です。



ニュースレターの原稿大募集します

広報委員会といたしましては、このニュースレターを双方向的なものにしたいと思っており、皆様の原稿を大募集します。ぜひ、投稿ください。

- 1 今までのニュースレター・会報の記事に対するご意見
- 2 子育て体験談
- 3 変わった国に行った旅行記
- 4 ペットや趣味の紹介
- 5 感動した本、マンガ、ゲームの紹介

下記にお送りいただければ、ニュースレターに掲載させていただきます（もちろん、一定の審査はさせていただきますが…）

広報委員会委員長 松尾洋輔 y-matsuo@dojima.gr.jp